

令和7年度

事業報告書

社会福祉法人カトリック児童福祉会
亘理カトリック保育園

令和7年度事業計画実施報告書

亙理カトリック保育園

- 1 委託児童数 定員 60名
実績児童数 延人数 744名

2 職員構成

園長 1名 主任保育士 3名 保育士 9名 栄養士 1名
調理員 2名 短時間保育士 1名 講師 1名 保育補助 1名
派遣職員 5名 (保育士 2名・保育補助 2名 調理 1名)

計 24名

嘱託医 (内科 1名・歯科 1名)

3 保育方針

保育は児童福祉法及び新保育所保育指針及び幼稚園教育要領に従い、キリスト教精神に基づき、園生活が整えられた環境の下でよりよい保育ができるよう努める。

4 保育要領

(1) 保育目標

○神の子どもとしてひとりひとりを大切に愛し、自立していくことを助けます。

- ・子どもの自発、主体性を重んじ、その年齢に応じて発達することを援助し、人格形成を行い、生きる力を養います。そのための環境を整えます。
- ・日々の生活の中で、神を敬い、感謝と賛美ができる心を育みます。
- ・異年齢の子どもたちの関わりを大切にして、年下の子どもを思いやる心、年上の子どもから学ぶ心を育てます。

【実施状況】

グループホームやデイサービス訪問、地域の方との世代間交流、警察署や消防署などの見学を積極的に行った。又、陶芸教室やクッキング、大型バスでの親子遠足、電車に乗ってのお別れ遠足など、子ども達が様々な経験が出来るよう職員間で話し合い、工夫しながら実施した。

(2) 保育時間

平 日 午前 7 : 00～午後 19 : 00

土曜日 午前 7 : 00～午後 18 : 00

※延長保育 (平 日) 午前 7 : 00～ 8 : 00

午後 17 : 30～19 : 00

(土曜日) 午前 7 : 00～ 8 : 00

午後 12 : 30～18 : 00

- ・保護者の勤務・通勤時間に合わせて対応し、延長保育については、延長保育申請者を対象に行った。

5 給食実施状況

- ・毎月献立表を作成し、職員会議で保育士と栄養士の連携が取れるよう話しあった。又、給食の展示や人気メニューのレシピを配布するなどし、食への関心を深めることに繋げた。
- ・食物アレルギー児に関しては、医師の診断のもと、食物除去食依頼書及び診断書を提出した上で、保護者と連絡をとりながら除去食を実施した。
- ・畑や花壇、プランターでの野菜栽培を行い、実際に実物に触れる機会を多く持つようにした。又、栽培した野菜でクッキングを行い、食への興味関心へ繋げた。
- ・食事の様子を栄養士が定期的に見るようにし、形状や好みなどの把握に努め、保育士と連携して進めた。
- ・除去食提供の際に、誤食に繋がらないよう職員間で再確認し合い、安全な食事環境の工夫などを行った。

6 職員研修状況

- ・オンライン研修や園内研修を通して学びを深め、保育の振り返りを行うことが出来た。又、わらべ歌の講師による職員研修を行った。

- ・以上児・未満児会議を通し、子ども主体の保育を行うにはどうすればいいか意見を出し合い、自身の子どもへ関わり方や環境の見直し、チェックリストを用いて振り返りを行って保育の質の向上に努めた。

○宮保協施設長研修	1回
○中央ブロック保育研修会 未満児研修	1回
○中央ブロック保育研修会 給食用務研修	1回
○中央ブロック保育研修会 主任保育士研修	2回
○宮社協主任オンライン研修	1回
○宮城県カトリック幼保連盟研修	1回
○日本保育協会 宮城研修会	1回
○亘理町障害児研修	3回
○亘理町保育研修部会 各年齢部会	4回
○亘理町地方町会管内児童福祉施設職員研修会	1回
○防火防災研修	1回
○オンライン研修「子どもの主体性を育むインクルーシブな環境づくり」	1回
○自己チェックリストを使用しての保育の振り返り	

7 施設・整備等の整備状況

- ・コドモンサービスを活用し、ドキュメンテーションを保護者に配信することで、園での子どもたちの様子や活動内容をより分かりやすく伝えることができた。